

勝山市の
恐竜化石発掘現場から
発見された

日本初!! 新属新種のオルニトミモサウルス類
ティラノミムス・フクイエンス

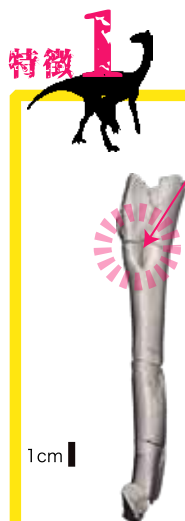
福 井県勝山市北谷町における第二次～第四次恐竜化石発掘調査で発見された、オルニトミモサウルス類化石が新属新種であることがわかり、その成果をまとめた論文が国際的な学術誌に掲載されました。

骨格には数多くの特徴が見られますが、近縁種にない独自の**特徴として、上腕骨にある溝を伴う小孔**などが挙げられます。

また、**腸骨の垂直稜**はティラノサウルス上科の特徴とされてきましたが、今回の研究の結果、**オルニトミモサウルス類にも見られることがわかりました。**

化石は複数個体のものが混ざっており、多くは全長2メートル前後のものです。

Tyrannomimus fukuimensis



特徴 1

みぞ 溝を伴う小孔

他のオルニトミモサウルス類には見られない独自の**特徴**



特徴 2

ずいちょうりょう 垂直稜

ティラノサウルスの仲間の**特徴とされていたが、オルニトミモサウルス類にも見られることがわかった**



推定される輪郭(黒)に見つかった骨(白)を配置
複数個体の骨が混ざっており、骨小比率はそれぞれ異なる

1m (完模式標本に対して)

ティラノミムス・フクイエンス
Tyrannomimus fukuimensis

「福井産の暴君(ティラノ)もどき」

分類：竜盤類 獣脚類 オルニトミモサウルス類
産地：福井県勝山市北谷町
地層：手取層群赤岩亜層群北谷層
骨格全長：2m 前後 (複数個体の平均)